

子ども読書支援センターニュース No. 139

2016. 1. 1

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

「子ども読書支援センターニュース」は、メールマガジン「本はともだち」でも読むことができます。
新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★幼児のためのおはなし会

○日時：平成28年1月12日（火）11:00～11:20

○会場：山口県立山口図書館

○対象：幼児

【12月のおはなし会で使った本】

『ナイト・ビフォー・クリスマス』 ロバート・サブダ/さく クレメント・ムーア/し 大日本絵画 2003

『よいしょよいしょ』 まついのりこ/脚本・絵 童心社 2004

『まどからおくりもの』 五味太郎/作・絵 偕成社 2003

『〇△□なにか』 (エプロンシアター) 中谷真弓/著 メイト 2007

『ぐりとぐらのおきやくさま』 中川李枝子/文 山脇百合子/絵 福音館書店 2003

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『おもち!』 石津ちひろ/文 村上康成/絵 小峰書店 2015.11 ¥1,400

始まり始まり、お餅つき!蒸したもち米、こねこねこね、おいしくなあれ、ぺったんぺったん、ぺたぺったん!男の子が勢いよく杵でついていると、びよよ〜とお餅が伸びて、あら不思議!兎の形になった。次に女の子がつくと、今度は広がって白熊さんにお爺さんがすると…?ついたお餅がいろんな形に大変身。読み聞かせに向く、お正月にもぴったりの楽しい絵本。

<絵本-3, 4歳から>

『あと、いくつ?』 ひろかわさえこ/作 アリス館 2015.11 ¥1,400

大好きなお婆ちゃんの家に行く日を指折り数えて心待ちにする、くるみちゃん。お母さんに「あといくつ寝たら?」と何度も尋ねた。ジャムを煮たり、荷物をつめたり、家族で少しずつ準備をして、くるみちゃんもお婆ちゃんへのお土産を用意するが…。子どもが楽しみにしている日を迎えるまでの喜びに溢れた日々と、大好きな人に待っていてもらえた幸せな気持ちを描く。

『おおきいサンタとちいさいサンタ』 谷口智則/作・絵 文溪堂 2015.11 ¥1,500

丘の上に、大きいサンタと小さいサンタが住んでいた。隣同士だが、話をしたことがない。ある年、プレゼントを配り終えた2人の家に、それぞれ手紙が届いていた。そこには小さなネズミから大きいサンタへ、大きなゾウから小さいサンタへのお願いが書かれていて、手に負えず困った2人は初めて話し…。『100にんのサンタクロース』の前編に当たる、楽しいお話

『まあちゃんとりすのふゆじたく』 かとうまふみ/作 アリス館 2015.10 ¥1,400

まあちゃんは森で集めたどんぐりを、木のうろに入れて秘密の場所にした。ところが次の日、どんぐりはなく、りすが持って行ったと分かる。りすの為に、毎日集めてあげていると、「おかずで冬支度ができたよ。今夜、迎えに行くよ」という葉っぱの手紙を受け取った。夜、りすの背に乗って、森の生き物達の冬支度の様子を見に行き…。優しい気持ちになれる冬の絵本。

<絵本-5, 6歳から>

『ヘルシーせんたいダイズレンジャー』 やぎたみこ/作 講談社 2015.11 ¥1,300

舞台は、江戸時代を思わせる「いそふらの国」。この国では昔から大豆を育て、おかずで健康に暮らしていた。ところが、新しい殿様が「大豆禁止令」を出したから大変。ピンチに立ち上がったのは大豆達。畑を飛び出し、殿様に大豆の良さを知って貰い、お触れをやめさせようとダイズレンジャーに変身して…。個性的なキャラクターや設定が面白く、食育にもおすすめ。

『ホワイトクリスマス 雪』 ウォルター・デ・ラ・メア/詩 カロリーナ・ラベイ/絵 海後礼子/訳 岩崎書店 2015.11 ¥1,400

白雪しんしん降ってくる。水晶の削り屑積らせて、あの木もこの木も山にする…。楽しいクリスマスを迎える幸せな家族の姿と、雪が辺りを真っ白に変えていく魔法のような様子を、時間の経過を追って描く。“幼心の詩人”と称される英国を代表する詩人デ・ラ・メアの詩「Snow」のほりつめた美しさを、画家が楽しいクリスマス絵本に昇華させた大変美しい一冊。

『えほんからとびだしたオオカミ』 ティエリー・ロブレヒト/作 グレゴワール・マビール/絵 石津ちひろ/訳 岩崎書店 2015.11 ¥1,300

ある日、子ども部屋の本棚から絵本が一冊床に落ちこぼれた。絵本の中から転がり落ちた狼は、見知らぬ場所でおどろいてたまらない。部屋にいた太っちょ猫に追われ、逃げようと本棚をよじ登り、目についた絵本の中へ忍びこむと、華やかな舞踏会の会場や、恐竜の世界に紛れ込んだりして、なかなか元の絵本の中に戻れず…。憎めないユニークなキャラクターが愉快な一冊。

<絵本-小学校低学年から>

『クリスマスイヴの木』 デリア・ハディ/文 エミリー・サットン/絵 三原泉/訳 BL出版 2015.11 ¥1,600

森から運ばれたモミの木は、ツリーとして広場や家に飾られたが、ひよろひよろ曲がった小さなモミの木だけは、クリスマスイヴまで売れ残った。捨てられる寸前、橋の下で生活する貧しい男の子に貰われると、灯りを灯された。いつしか木と男の子を中心に、音楽が演奏され、人々の輪が広がっていき…。美しいイラストが、心温まるお話をさらに魅力的にしている。

『こんには、いたざらっ子エーミル』 アストリッド・リンドグレン/作 ビヨルン・ペリイ/絵 石井登志子/訳 徳間書店
2015.11 ¥1,500

スウェーデンの農場に住む男の子エーミルは、いつも大騒ぎを引き起こす大変ないたざらっ子。スプーン鉢を頭にかぶって抜けなくなったり、妹イダを旗の代わりに柱のてっぺんに引っ張りあげたり…。長年読み継がれている愉快な児童文学の名作を、作者自身が小さな子どもの為に絵本としてまとめた作品。画家は「スプーンおばさん」シリーズの挿絵等を担当している。

<読み物—低学年から>

『あまのじゃくにかんぱい!』 宮川ひろ/作 童心社 2015.11 ¥1,100

小4のえりと小2の雄也は同世代の従兄弟たちと一緒に、お盆休みを田舎のおばあちゃんの家で過ごすことになる。名付けて3泊4日の「いじわる教室」。おばあちゃんが仕掛けてくるいじわるとはいったい何なのか…。便利になった現代にあえて不便な生活を強いるあまのじゃく生活で、たくましく成長する夏休みのお話。「かんぱい!」シリーズ第9弾。

『菜乃のポケット』 村上しいこ/作 講談社 2015.11 ¥1,100

花屋の娘菜乃は、日曜日の朝に現れた妖精チョコットに頼まれて花屋の仕事を手伝うことに。葬式に花を届ける時のパシや、どんな気持ちでいるんだろう…。物語を味わいながら様々な職業に触れることができる「おしごとのおはなし」シリーズ。巻末に職業への理解がさらに深まる豆知識つき。現代を代表する童話作家によるこのシリーズのための書き下ろし。

<読み物—中学年から>

『二日月』 いたうみく/作 そうえん社 2015.11 ¥1,300

小4の杏のうちに生まれた妹はミルクを飲んでもすぐに吐く。1歳になってもまだおすわりもできず、医者には障がいがあるかもしれないと言われる。母親を独占する妹を疎ましく思ったり妹に障がいがあることを友達に知られたくなかったりする自分自身に腹を立てる杏。「二日月」を見て、月は必ずまた満ちていくことから、妹に明るい未来が来ることを願う家族愛の物語。

『つくしちゃんとうすぎなさん』 まはら三桃/作 講談社 2015.10 ¥1,400

引越してきた小2のつくしは、学校の通学路沿いの家に魔女が住んでいると教わる。魔女の名はすぎなさん。2人はツクシとスギナ繋がり得意投合する。弟へ嫉妬する気持ちを打ち明けると、自治会長さんとの確執を愚痴るすぎなさん。交互の視点から語られる、年の離れた二人と周囲の人々のふれあいの物語。『毎日新聞』大阪本社版の連載小説を加筆・修正。

<読み物—高学年から>

『ぼくのおレンジの木』 J.M. デ・ヴァスコンセロス/著 永田翼・松本乃里子/共訳 ポプラ社 2015.11 ¥1,400

早熟なゼゼーは家族から理解されずいつも怒られてばかり。味方はゼゼーとおしゃべりができる、裏庭の小さなスイートオレンジの木だけ。貧しくつらい現実に向かうゼゼーの視点で書かれた感受性に満ちた少年の成長物語。ブラジルの国民的作家、ヴァスコンセロスの半自伝的名作。ブラジルでは多くの学校で必読書になっており、ブラジル文学を代表する一つ。

<読み物—中学生から>

『だれもが知っている小さな国 Colobockle Story』 有川浩/著 講談社 2015.10 ¥1,400

はちみつを採集する「はち屋」の息子ヒコが、小学3年の時、北海道で出会ったのは同じはち屋の子ヒメと小さな人。その後年月は流れ…。コロボックル物語を読んだ両親の子どもたちが同じように物語を読み、コロボックルの秘密を受け継いでいく。人気作家の有川浩が、子どもの頃大好きだったコロボックルの物語を著者の佐藤さとのからバトンタッチされ、書き継いだ物語。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『紙ひこうきクラフトスクール レベル1はじめて編』 クリストファー・Lハーボ/著 鎌田歩/絵 ほるぷ出版 2015.10 ¥2,000

紙ひこうきを難易度別に紹介。「はじめて編」では、かっこよく遠くまで飛んでいく紙飛行機、くるくると舞い降りる紙飛行機など、初めてでも簡単に折れるものを掲載。準備物も、すべて身近なもので揃えられる。飛ばし方のコツとして、紙飛行機の持ち方を写真で解説。巻末には紙飛行機を使った遊びを紹介。「初級編」「中級編」「上級編」と続く。

<ノンフィクション—中学生から>

『今すぐ読みたい!10代のためのYAブックガイド150!』 金原瑞人、ひこ・田中/監修 ポプラ社 2015.11 ¥1,800

作家、書評家、書店員、図書館司書など27人の本のプロが選りぬいた、旬のYA本150冊を紹介するブックガイド。2015年刊行の最新の本も掲載。「本っていまいち好きになれないんだよな」という人を本の森へいざなう案内書。右ページに書影、キャッチコピーや著者紹介、左ページに紹介文と見開きで1冊分。各紹介者のワクワク感が伝わる紹介文を読むのも楽しい。

<研究書>

『映画になった児童文学』 川端有子、水間千恵、横川寿美子、吉本和弘/著 玉川大学出版部 2015.10 ¥3,300

『不思議の国のアリス』、『若草物語』、『小公子』、『ピーター・パン』の4作品を取り上げ、原作と主な映画作品を考察。メディア化の中で明らかになる作品の特徴やそれぞれの映画作品の違いとその評価、メディア化の背景等、メディアミックス研究の新たな可能性を示す。児童文学の映画化について勉強したい人のための文献案内付き。

【県内の動き】

★読みかせ絵本を楽しむ会 ～読み聞かせ始めませんか?～

- 日時：平成28年1月14日(木) 10:00～12:00
- 会場：山陽小野田市立中央図書館
- 対象：絵本の読み聞かせ活動に関心のある者
- 定員：15名(要申込)
- 照会先：山陽小野田市立中央図書館(0836-83-2870)

★おはなし会<ボランティア養成>講座

- 日時：平成28年1月30日(土) 10:00～16:00
- 会場：岩国市中央図書館
- 講師：岩国市中央図書館職員
- 定員：20名(先着順)
- 照会先：岩国市中央図書館(0827-31-0046)

※子どもの本や読書についてイベント情報をお寄せください。